



# ヘッドセット サービス

- [ヘッドセット サービスの概要 \(1 ページ\)](#)
- [ヘッドセット サービスの前提 \(2 ページ\)](#)
- [ヘッドセット サービスの管理者設定タスクフロー \(2 ページ\)](#)
- [ヘッドセット サービスのエンド ユーザ関連付けタスク フロー \(7 ページ\)](#)

## ヘッドセット サービスの概要

ヘッドセット サービスを使用すると、サポートされているデバイスにシスコ ヘッドセットを接続して、ヘッドセットベースのエクステンションモビリティなどの、シンプルで統合されたユーザ エクスペリエンスを提供できます。

ヘッドセット ベースのエクステンションモビリティは、ヘッドセット サービスの下で導入された最初の機能です。シスコ ヘッドセットをエクステンションモビリティ対応デバイスに接続すると、エクステンションモビリティのログインとログアウトにシームレスなログインエクスペリエンスが提供されます。

ヘッドセット サービスを使用すると、管理者とエンド ユーザが、自所有のデバイス、共有スペース、共有エリア デバイスなど、任意のデバイスのヘッドセットを関連付けられます。この関連付けは、認証を行い、ユーザに合わせてカスタマイズされたエクスペリエンスを作成するのに役立ちます。この機能は、有線およびワイヤレスの両方のヘッドセットをサポートします。

ヘッドセットの関連付けによって、ユーザの ID がヘッドセットに割り当てられます。ユーザ ID が必要なサービスにログインできます。

この Unified Communications Manager インターフェイスにより、管理者は次のアクセスを実行できます。

- ヘッドセットとエンド ユーザの関連付けおよび関連付け解除、シリアル番号の解除をします。
- ヘッドセットベースのエクステンション モビリティを有効化します。
- バルク ユーザをヘッドセットの関連付けにインポートおよびエクスポートします。



(注) ヘッドセット ベースのエクステンションモビリティ のログインは、拡張機能ではサポートされていません。

ヘッドセットベースのエクステンションモビリティのログインは、モバイルおよびリモートアクセス (MRA) をサポートするデバイスで機能します。互換性のある電話機のファームウェアバージョンは 14.1(1) です。

ヘッドセット ベースのエクステンションモビリティのログインは、同じユーザー ID がヘッドセットと電話機の両方を制御している場合は機能しません。

## ヘッドセット サービスの前提

- エンドユーザがすでに Unified Communications Manager に作成されています。
- ヘッドセットを使用してエクステンションモビリティにログインする場合は、エクステンションモビリティがユーザのデバイスで有効になっている必要があります。また、[ **エクステンションモビリティのサインインおよびサインアウトオプションにヘッドセットを許可する (Allow headset for Extension Mobility sign in and sign out)** ] オプションが有効になっているため、ユーザはシスコヘッドセットを使用してエクステンションモビリティのログインまたはログアウトを実行できます。



(注) ヘッドセットベースのエクステンションモビリティ機能は、88XX および 78XX シリーズの Cisco IP 電話の最新ファームウェアのみをサポートしています。

## ヘッドセットサービスの管理者設定タスクフロー

管理者は次のタスクを使用して、ヘッドセットをユーザに関連付け、ヘッドセットベースのエクステンションモビリティを有効にできます。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">ユーザーへのヘッドセットの関連付け (3 ページ)</a>	シリアル番号をユーザに関連付ける方法および関連付け解除する方法を指定します。
ステップ 2	<a href="#">エンドユーザヘッドセットの関連付けの管理 (4 ページ)</a>	<b>オプション:</b> エンドユーザがデバイスのヘッドセットの関連付けを作成できます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	ヘッドセットベースのエクステンションモビリティの有効化 (4 ページ)	Unified Communications Managerからヘッドセットのエクステンションモビリティを有効にします。
ステップ 4	ピンレス エクステンションモビリティの有効化 (5 ページ)	ピンレスエクステンションモビリティを有効にします。
ステップ 5	エクステンションモビリティヘッドセットのログアウト タイマーの設定 (6 ページ)	ヘッドセットの自動ログアウトのタイムアウト設定を構成します。

## ユーザーへのヘッドセットの関連付け

ユーザにヘッドセットを関連付けるには、次の手順を使用します。

### 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[ユーザー管理 (User Management)] > [エンド ユーザ (End User)]。
- ステップ 2 [検索] をクリックし、ヘッドセットを関連付ける既存のユーザを選択します。
- ステップ 3 [関連付けられたヘッドセット] セクションに、割り当てるヘッドセットのシリアル番号を入力します。
- ステップ 4 [保存] をクリックします。
- ステップ 5 選択したユーザに他のヘッドセットを関連付けるには [(+)] をクリックします。

(注) 特定のユーザに最大15個のヘッドセットを関連付けることができます。ヘッドセットのシリアル番号は、個々のヘッドセットごとに固有です。同じヘッドセットを2人のユーザに関連付けることはできません。ヘッドセットの関連付けを別のユーザに移動するには、最初のユーザからヘッドセットの関連付けを解除する必要があります。

特定のヘッドセットのシリアル番号の位置については、そのヘッドセットモデルのヘッドセットのアドミニストレーションガイドを参照してください。

- ステップ 6 (任意) [(-)] をクリックすると、選択したユーザのヘッドセットシリアル番号の関連付けが解除されます。
- ステップ 7 [詳細の表示 (details)] リンクをクリックすると、ヘッドセットのインベントリの詳細が表示されます。詳細については、「ヘッドセットとアクセサリの管理」の「ヘッドセット インベントリ設定」セクションを参照して、ヘッドセットの詳細を確認します。

## エンドユーザヘッドセットの関連付けの管理

**オプション:** デバイス画面の [ヘッドセットの関連付け] メニュー オプションを使用してエンドユーザがヘッドセットを関連付け可能にするには、**Unified Communication Manager** の設定を構成するには、この手順を使用します。

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)]。

**ステップ 2** [エンタープライズパラメータの設定] セクションで、エンドユーザのヘッドセットをデバイスに関連付ける場合は、次のいずれかを選択します。

- [すべてのデバイスからヘッドセットの関連付けを開始する場合はユーザをプロンプトする]を選択し、ヘッドセットが初めてデバイスに接続された場合、[ヘッドセットの関連付け] 画面が表示されます。デフォルトでは、このパラメータ値が選択されています。
- [ヘッドセットの関連付け] 画面に [エクステンションモビリティ対応デバイスからのみヘッドセットの関連付けを開始する場合はユーザをプロンプトする] を選択し、エクステンションモビリティ対応デバイスにのみ表示します。
- すべてのデバイスで [ヘッドセットの関連付け] 画面を無効にするには、[すべてのデバイスからヘッドセットの関連付けを開始するようにユーザをプロンプトしない] を選択します。この設定では、ユーザがデバイスメニューから手動でヘッドセットの関連付けを開始することはできません。

(注) 設定の変更は、エンドユーザに関連付けられているヘッドセットには適用できません。

**ステップ 3** 構成の変更を有効にするには、[保存して構成を適用 (Save and Apply Config)] をクリックします。

**ヒント** 詳細については、[企業パラメータの設定] ウィンドウで、パラメータ名または疑問符 (?) アイコンをクリックします。

## ヘッドセットベースのエクステンションモビリティの有効化

ユーザが関連付けられたヘッドセットからエクステンションモビリティにログインするには、この手順を使用します。

### 始める前に

ヘッドセットユーザがヘッドセットを使用してエクステンションモビリティにログイン、使用、およびログアウトできるエクステンションモビリティサービスに Cisco IP 電話とデバイス

プロファイルを設定していることを確認してください。詳細については、[エクステンションモビリティへの登録](#)を参照してください。

#### 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)]。
- ステップ 2 [サーバ] フィールドで、Cisco Extension Mobility サービスを実行しているノードを選択します。
- ステップ 3 [サービス (Service)] フィールドで、[Cisco Extension Mobility] を選択します。
- ステップ 4 ヘッドセットベースのエクステンションモビリティフィールドで、関連付けられたヘッドセットをエクステンションモビリティのログインに使用するには、次のいずれかを選択します。
  - [エクステンションモビリティのヘッドセットのサインインとサインアウトを許可する] を選択して、ヘッドセットユーザがエクステンションモビリティでサインインとサインアウトできるようにします。デフォルトでは、このパラメータ値が選択されています。
  - [エクステンションモビリティのサインインにヘッドセットを許可しない] を選択して、ヘッドセットユーザのエクステンションモビリティでのサインインとサインアウトを制限します。このオプションを選択すると、ヘッドセットの接続時にエンドユーザにエクステンションモビリティのログインまたはログアウト画面が表示されます。
- ステップ 5 [保存] をクリックします。

## ピンレス エクステンションモビリティの有効化

ユーザに関連付けられたヘッドセットを使用して、ピンレスでエクステンションモビリティにログインするには、次の手順を実行します。



(注) この機能は、リリース 12.5(1)SU3 以降でサポートされています。

#### 始める前に

[サービスパラメータ設定] > [ヘッドセット接続後の自動ログインタイマー (秒)] フィールドで、システムがユーザー入力を待機してから拡張モビリティプロファイルに自動的にサインインするまでの最大時間を指定します。



(注) 指定した最大継続時間が有効になるのは、ヘッドセットベースのログインフィールドの PIN の入力が [必須ではない] に設定されている場合のみです。

## 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)]。
- ステップ 2** [サーバ] フィールドで、Cisco Extension Mobility サービスを実行しているノードを選択します。
- ステップ 3** [サービス (Service)] フィールドで、[Cisco Extension Mobility] を選択します。
- ステップ 4** ヘッドセットベースのログイン フィールドの PIN エントリで、次のいずれかを選択して、ピンレス エクステンションモビリティのログインを有効または無効にします。
- エクステンションモビリティ ログイン用の PIN を入力するようユーザにプロンプトする場合は、**[必須]** を選択します。デフォルトでは、このパラメータ値が選択されています。
  - エクステンションモビリティに1分以内に自動的にログインする場合は、**[不要]** を選択します。ユーザは、電話機の UI で PIN の詳細を入力するようプロンプトされません。
- 重要** ユーザが設定された時間内に自動的にサインアウトしたり、有線またはワイヤレスヘッドセットを使用して手動でログアウトした場合は、**[キャンセル]** をクリックして、指定された時間内の自動サインインを避けることをお勧めします。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。
- 

# エクステンションモビリティ ヘッドセットのログアウトタイマーの設定

自動ログアウトのタイムアウト設定を構成するには、次の手順を使用します。



- 
- (注) [サービスパラメータ設定] ウィンドウのヘッドセットベースのエクステンションモビリティ サービスパラメータのパラメータが [エクステンションモビリティのサインインとサインアウトをヘッドセットに許可しない] に設定されている場合、自動ログアウトタイマー値を設定しても効果はありません。
- 

## 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。サービス > サービスパラメータ。
- ステップ 2** [サーバ] フィールドで、Cisco Extension Mobility サービスを実行しているノードを選択します。
- ステップ 3** [サービス (Service)] フィールドで、[Cisco Extension Mobility] を選択します。

**ステップ4** [ヘッドセット切断後の自動ログアウトタイマー]フィールドに、ヘッドセットがデバイスから切断された場合にシステムがユーザの入力を待ち続け、自動的にユーザがログアウトするまでの最大継続時間値を入力します。

(注) デフォルトでは、5分で設定されています。最大値を15分に設定できます。

**ステップ5** [保存]をクリックします。

## ヘッドセットサービスのエンドユーザ関連付けタスクフロー

エンドユーザは次のタスクを使用してヘッドセットを関連付け、関連付けられたIDを使用してエクステンションモビリティを使用してログインできます。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
<b>ステップ1</b>	<a href="#">ユーザヘッドセットの関連付け (7 ページ)</a>	エンドユーザへのヘッドセットの関連付けを作成します。
<b>ステップ2</b>	<a href="#">ヘッドセットの関連付けをスキップする (8 ページ)</a>	特定のエンドユーザのヘッドセット関連付けをスキップできます。
<b>ステップ3</b>	<a href="#">ヘッドセットを使用したエクステンションモビリティのログイン (8 ページ)</a>	エクステンションモビリティのログインに関連付けられたヘッドセットを使用することで、カスタマイズしたエクスペリエンスを実現します。
<b>ステップ4</b>	<a href="#">ヘッドセットを使用したエクステンションモビリティからユーザーをログアウトする (9 ページ)</a>	エクステンションモビリティからヘッドセットをデフォルトの設定時間内にログアウトするのに役立ちます。

## ユーザヘッドセットの関連付け

ユーザにヘッドセットを関連付けるには、次の手順を使用します。

### 手順

**ステップ1** ヘッドセットを Cisco IP 電話に接続します。

[ヘッドセットをユーザに関連付ける] ポップアップ画面が IP Phone の画面に表示されます。

ユーザ名は、デバイスが共有スペースまたは共有エリアにあるか、ユーザがデバイスに関連付けられている場合に自動的に入力されます。デバイスが匿名の場合、[ユーザ ID] フィールドは空白で、エンドユーザはユーザの資格情報を提供するヘッドセットを関連付けます。

**ステップ 2 ユーザ ID および PIN** を入力または変更します。ログイン情報が分からない場合は、管理者に問い合わせてください。

**ステップ 3** [送信 (Submit) ] をクリックします。

ヘッドセットメッセージの調整が成功すると、ユーザ名が表示されます。

無効なクレデンシャル (ユーザ ID または PIN) を 3 回以上入力すると、Cisco IP 電話にエラーメッセージが表示されます。

ヘッドセットの関連付けに失敗した場合は、ヘッドセットの接続を切断接続して、有効なログイン情報を提供するか、管理者に問い合わせてください。

**ステップ 4** (任意) Cisco IP 電話を介して手動でヘッドセットを関連付ける場合は、[設定] > [アクセサリ] > [シスコヘッドセットのセットアップ] > [ユーザの関連付け] を選択します。

(注) ヘッドセットが接続されていない場合、[ユーザの関連付け] オプションはグレー表示になります。有効にするには、ヘッドセットをデバイスに接続します。

---

## ヘッドセットの関連付けをスキップする

ユーザへのヘッドセットの関連付けをスキップするには、次の手順を使用します。

### 手順

**ステップ 1** ヘッドセットを Cisco IP 電話に接続します。

**ステップ 2** ヘッドセットをユーザに関連付ける前に [終了] をクリックします。

**ステップ 3** ヘッドセットを関連付けない場合は、[はい] をクリックします。

ヘッドセットの関連付け画面は、デバイスへの接続時にプロンプトされません。同じヘッドセットが別のデバイスに接続されている場合、[ヘッドセットをユーザに関連付ける] ポップアップ画面が Cisco IP 電話の画面に表示され、関連付けプロセスをユーザに移動します。

---

## ヘッドセットを使用したエクステンションモビリティのログイン

ユーザが関連付けられているヘッドセットを使用してエクステンションモビリティにログインするには、この手順を使用します。



## 手順

- 
- ステップ1** ヘッドセットを Cisco IP 電話に接続します。
- ステップ2** ヘッドセットが関連付けられている場合は、次の手順を実行します。
- ヘッドセットをユーザに関連付ける場合は、**ユーザ ID** と **PIN** を入力します。
  - [送信 (Submit)] をクリックします。  
ログイン画面に、関連付けられたユーザ ID の成功メッセージが表示され、ユーザはエクステンションモビリティでログインできます。
  - [サインイン] をクリックしてエクステンションモビリティのログインを完了します。
- ステップ3** ヘッドセットがすでにユーザに関連付けられている場合は、次の手順を実行します。
- エクステンションモビリティでログインの **PIN** を入力します。
  - 必要なユーザ プロファイルを選択します。
  - [送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ4** ユーザがすでにデバイスのエクステンションモビリティにログインしている場合に、以前に関連付けられているヘッドセットを別のユーザが接続すると、ログアウト画面が表示され、ユーザは以前にログインしているユーザからサインアウトできます。
- ステップ5** 以前のプロファイルからログアウトするには [はい] をクリックします。
- ステップ6** エクステンションモビリティでログインの **PIN** を入力します。
- ステップ7** [送信 (Submit)] をクリックします。
- (注) 電話機はデバイスプロファイルが変更されるごとにリセットされ、ユーザプロファイルが元のプロファイルに変更されます。

## ヘッドセットを使用したエクステンションモビリティからユーザーをログアウトする

エクステンションモビリティ対応デバイスからヘッドセットをサインアウトするには、次の手順を使用します。

## 手順

- 
- ステップ1** Cisco IP 電話からヘッドセットを取り外します。
- ステップ2** [サインアウト (Sign out)] をクリックします。

(注) 電話機がリセットされ、デバイス プロファイルが元のデバイス プロファイルに変更されます。

対応中のコール(1対1のコールまたは会議コール)中にヘッドセットを取り外した場合、そのコールは終了しません。エクステンションモビリティのサインアウトは、コールが終了した場合にのみ発生します。

ワイヤレスヘッドセットから手動でログアウトしたり、範囲を外したりしていない場合は、設定された時間内に自動的にサインアウトされます。デフォルトでは、設定時間は5分です。詳細については、[エクステンションモビリティ ヘッドセットのログアウト タイマーの設定 \(6 ページ\)](#) を参照してください。

**ステップ3** 現在のエクステンションモビリティセッションを保持する場合は、**[キャンセル]**をクリックします。デフォルトの設定時間内に再接続すると、ユーザ プロファイルが保持され、リセットが回避されます。

---

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。